

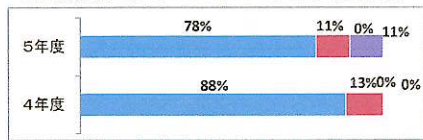
令和5年度 学校関係者（学校評議員）評価 まとめ

依田窪南部中学校

I 学校経営全般

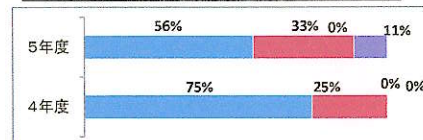
① 依田窪南部中学校の教育目標は、生徒の実態や保護者や地域の願いを踏まえたものになっている。

(1)	A	B	C	D	計
全体	7	1	0	1	9
5年度	78%	11%	0%	11%	100%
4年度	88%	13%	0%	0%	100%



④ 依田窪南部中学校は、特色ある教育活動を行っている。

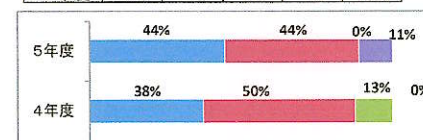
(4)	A	B	C	D	計
全体	5	3	0	1	9
5年度	56%	33%	0%	11%	100%
4年度	75%	25%	0%	0%	100%



II 生徒について

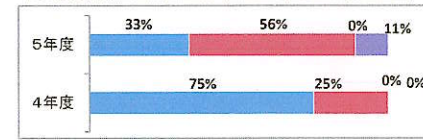
⑦ 生徒は、すすんであいさつをしたり、場に応じた言葉遣いができたりしている。

(7)	A	B	C	D	計
全体	4	4	0	1	9
5年度	44%	44%	0%	11%	100%
4年度	38%	50%	13%	0%	100%



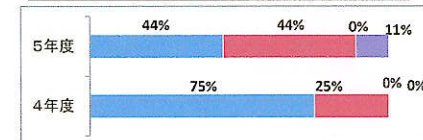
② 学校は教育方針をわかりやすく伝えている。

(2)	A	B	C	D	計
全体	3	5	0	1	9
5年度	33%	56%	0%	11%	100%
4年度	75%	25%	0%	0%	100%



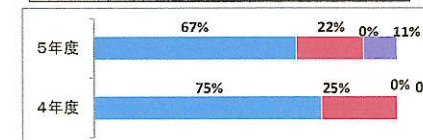
⑤ 依田窪南部中学校は、生徒の思いを大切にしたい教育活動を行っている。

(5)	A	B	C	D	計
全体	4	4	0	1	9
5年度	44%	44%	0%	11%	100%
4年度	75%	25%	0%	0%	100%



⑧ 依田窪南部中学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。

(8)	A	B	C	D	計
全体	6	2	0	1	9
5年度	67%	22%	0%	11%	100%
4年度	75%	25%	0%	0%	100%



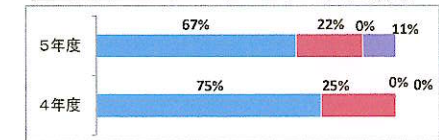
③ 依田窪南部中学校の教育活動は、本年度の重点目標を反映したものになっている。

(3)	A	B	C	D	計
全体	5	3	0	1	9
5年度	56%	33%	0%	11%	100%
4年度	88%	13%	0%	0%	100%



⑥ 学校の施設・設備は、清掃が行き届ききれいで安全に管理されている。

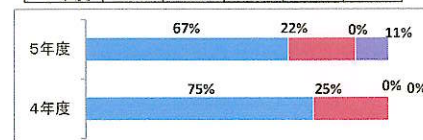
(6)	A	B	C	D	計
全体	6	2	0	1	9
5年度	67%	22%	0%	11%	100%
4年度	75%	25%	0%	0%	100%



III 教職員について

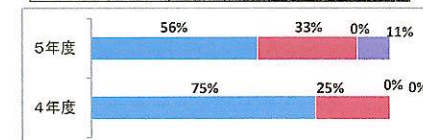
⑨ 教職員は、生徒の立場に立って物事を考え、温かい気持ちをもって生徒と接することができる。

(9)	A	B	C	D	計
全体	6	2	0	1	9
5年度	67%	22%	0%	11%	100%
4年度	75%	25%	0%	0%	100%



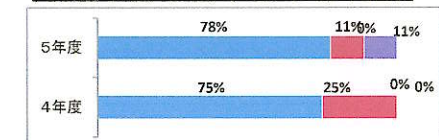
⑩ 教職員は、生徒が興味関心をもてる授業、わかりやすい授業の工夫をしている。

(10)	A	B	C	D	計
全体	5	3	0	1	9
5年度	56%	33%	0%	11%	100%
4年度	75%	25%	0%	0%	100%



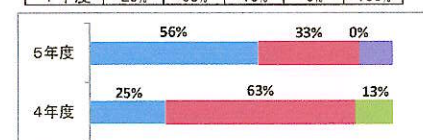
⑪ 教職員は、生徒に基礎的な学力を身につける努力をしている。

(11)	A	B	C	D	計
全体	7	1	0	1	9
5年度	78%	11%	0%	11%	100%
4年度	75%	25%	0%	0%	100%



⑫ 教職員は、地域との連携を大切にして、教育活動を推進したり、地域の方々と交流をしたりしている。

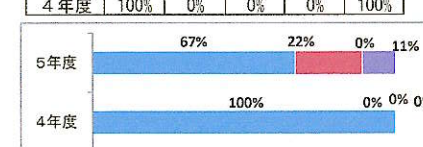
(12)	A	B	C	D	計
全体	5	3	0	1	9
5年度	56%	33%	0%	11%	100%
4年度	25%	63%	13%	0%	100%



IV 地域との連携

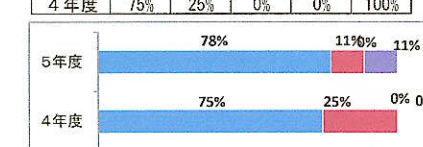
⑬ 1年：地域発見、2年：職場体験、3年：地域本来のプロジェクトの学習は、子供たちがこの地域のよさを実感できる学習になっている。

(13)	A	B	C	D	計
全体	6	2	0	1	9
5年度	67%	22%	0%	11%	100%
4年度	100%	0%	0%	0%	100%



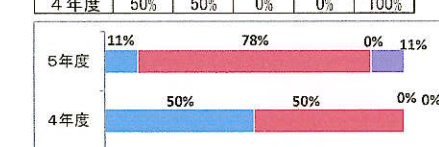
⑭ 学校は家庭や地域社会とともに生徒を育てていくという視点に立って学校運営を心がけている。

(14)	A	B	C	D	計
全体	7	1	0	1	9
5年度	78%	11%	0%	11%	100%
4年度	75%	25%	0%	0%	100%



⑮ 学校は保護者・地域の人々に分かりやすく情報を発信している。

(15)	A	B	C	D	計
全体	1	7	0	1	9
5年度	11%	78%	0%	11%	100%
4年度	50%	50%	0%	0%	100%



第2回学校関係者評価委員会(11月15日実施)報告

(学校評議員の方からいただいた授業の感想や日々の教育活動について)

- ・今年度は、多くのイベントに参加できるようになり、嬉しく思っております。子どもたちは落ち着いており、先生との関係も近く、学校生活を楽しんでいる様子が見えました。情報発信については、HPにOS活動の様子をアップしていただいたり、広く住民の皆様を知っていただいたりする方法を検討してほしいです。
- ・寝ている子どもがいた。集中していないようだった。(一部)
- ・集中して話を聞いたり、のびのびと発言する姿が見られたように思う。友達同士教え合うなど、良いコミュニケーションができています。
- ・先生方の工夫ある取り組みには頭が下がる思いです。生徒には将来的に南部中で学んだ事が如何に理にかなっていることを早めに気付いてほしい。

令和5年度 学校自己評価

2024/2/21

上田市長和町中学校組合立依田窪南部中学校

昨年度比
(A+B評価) +5%以上

-5%以上

1. 結果と考察

※グラフ左から A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：ややあてはまらない D：あてはまらない

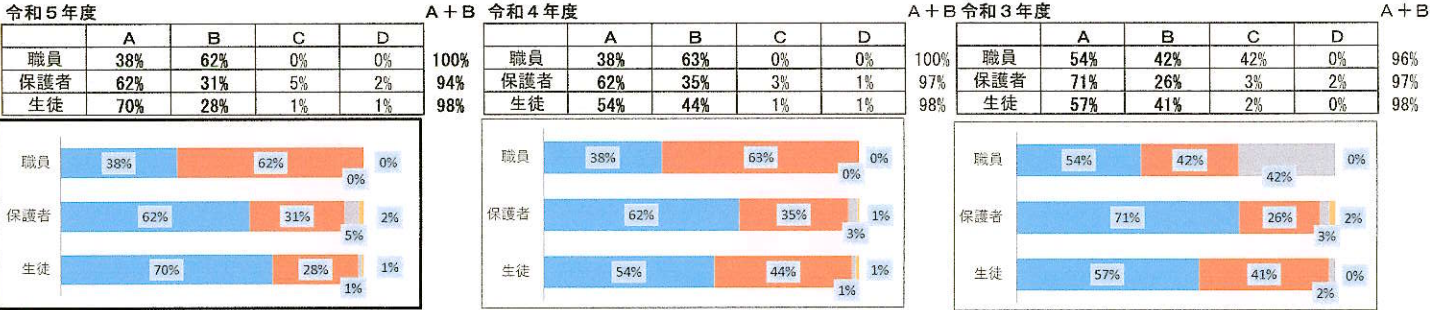
【質問項目1】 集団との関わり

【職員】 ①学級活動、生徒会活動、行事等で、生徒一人ひとりに役割を持たせることで、生徒が主体的に級友とかかわって活動しています。

【保護者】 ①授業参観や生徒（お子さん）の話から、生徒（お子さん）は級友と仲良くなかかわりながら学校生活を送っていると感じる。

【生徒】 ①学級活動、生徒会活動、行事等では、自分の役割を果たしながら、クラスの人々と協力合っています。

	生徒	保護者	職員
調査数	176	172	26

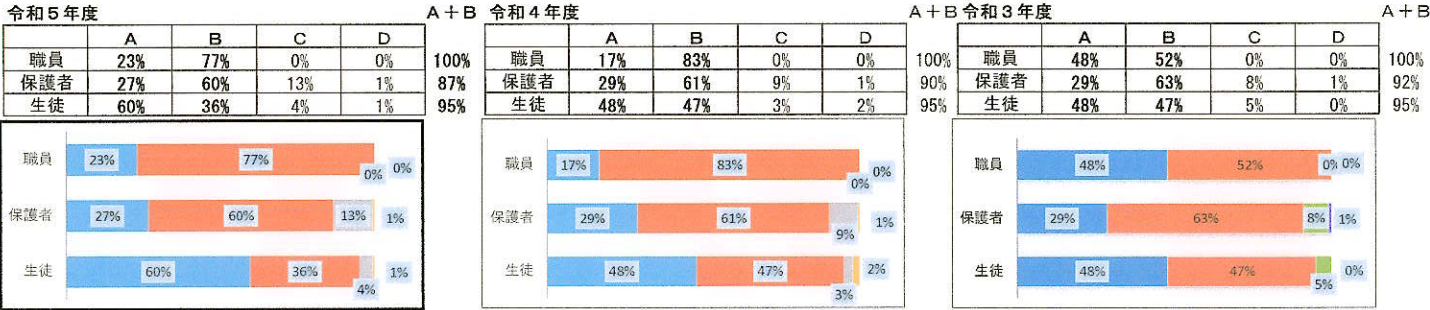


【質問項目2】 友だちとの関わり

【職員】 ②集団の中の自分の姿や集団のあり方を考えさせることで、生徒が友だちの気持ちを考えたり自分の気持ちを相手に伝えたりしながら学校生活を送っています。

【保護者】 ②生徒（お子さん）は、相手の気持ちを大切にしたり、自分の考えを相手に伝えたりすることができる。

【生徒】 ②集団の中の自分の姿や集団のあり方を考えることで、友だちの気持ちを考えたり自分の気持ちを相手に伝えたりしながら、学校生活を送っています。

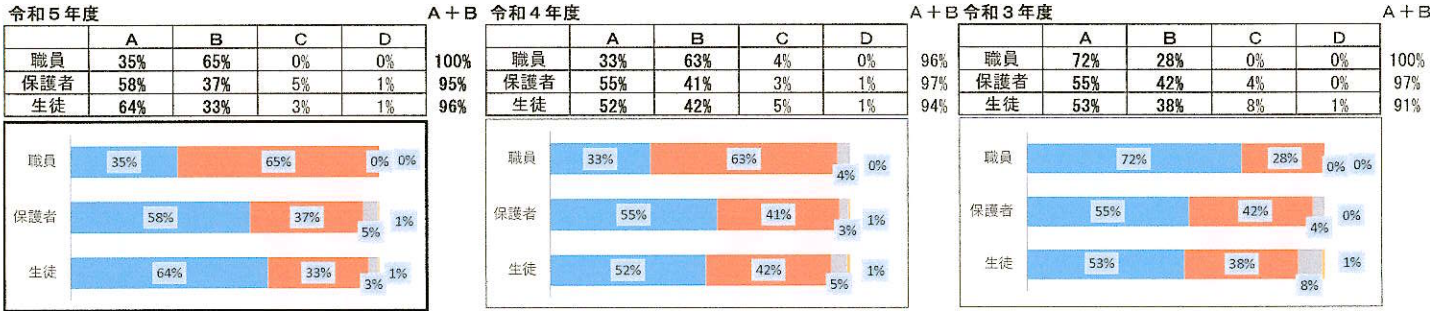


【質問項目3】 達成感や楽しさ

【職員】 ③学級活動、生徒会活動、行事、部活動等で、人間関係づくりの場や生徒自らが主体的に活動に取り組む場を設定することで、集団としてのまとまりが向上し、生徒一人ひとりが個々の良さを発揮できています。

【保護者】 ③学校での集団活動を通じて、生徒（お子さん）が成長していると感じる。

【生徒】 ③学級活動、生徒会活動、行事、部活動等で、達成感や楽しさを感じながら、自分から積極的に活動に取り組んでいます。

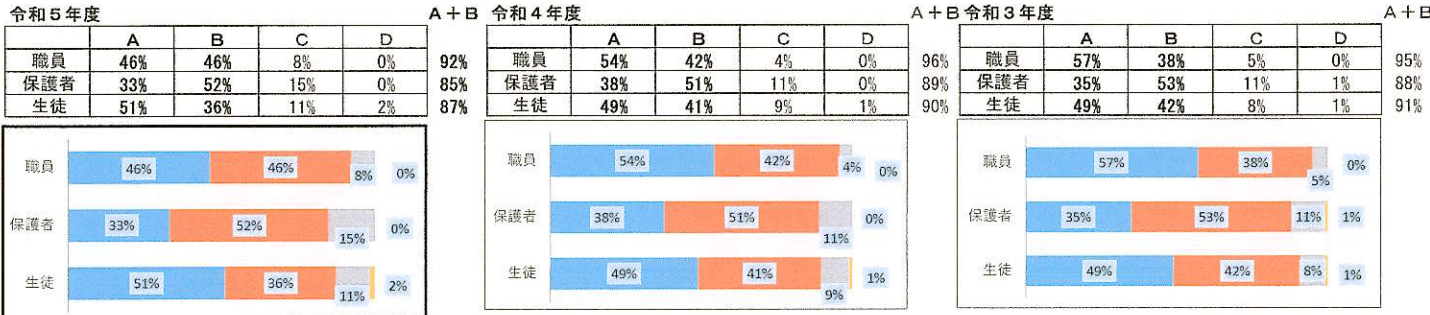


【質問項目4】 相談・生徒理解

【職員】 ④生徒を深く理解し支援するために、生徒の実態把握に努め、生徒に声をかけたり相談に乗ったりしながら、日々個々に応じたかかわりを持つことができます。

【保護者】 ④学校の職員は生徒（お子さん）の理解に努めたり、何かあったときは相談に乗ったりしてくれます。

【生徒】 ④先生は自分のことをわかってくれたり、困った時は相談に乗ったりしてくれます。

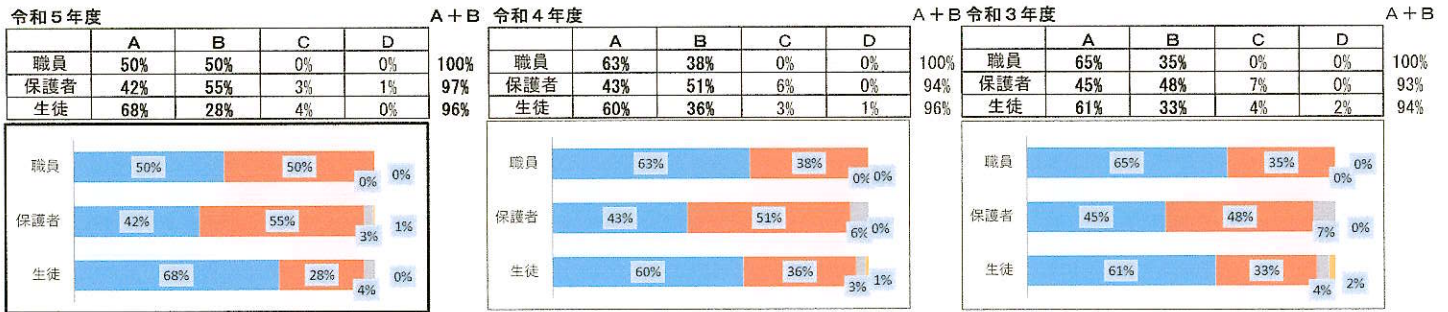


【質問項目5】 人権教育

【職員】 ⑤人権教育や日々の教育活動の中で、生徒の人権感覚を高め、いじめや差別のない集団づくりに関わろうとする気持ちを育んでいます。

【保護者】 ⑥来校した際は、校舎内外の清掃や整頓が行き届いていると感じる。

【生徒】 ⑤南中人権宣言を尊重し、人のことを大切に思う気持ちと、いじめや差別のない集団づくりに関わっていかうとする気持ちを持っています。

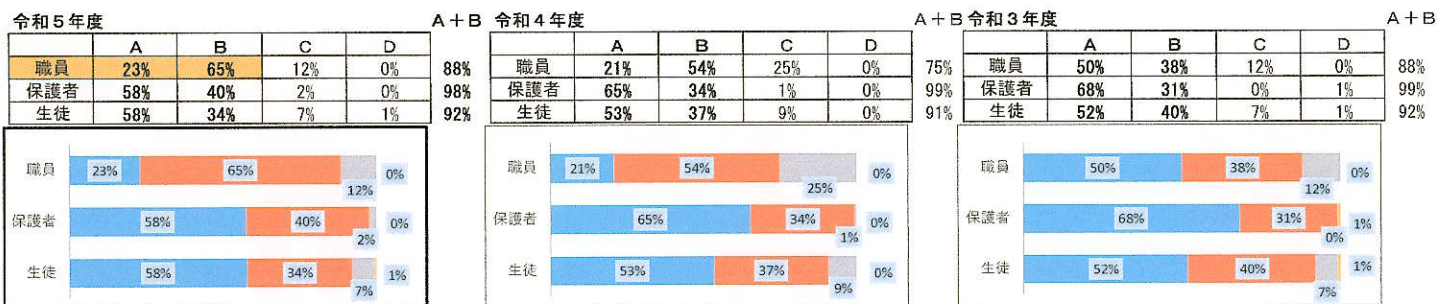


【質問項目6】 清掃の取り組み

【職員】 ⑥清掃への取り組みの活性化を図ったり、ともに清掃に取り組んで現場指導をしたりすることで、生徒が進すすんで清掃に取り組んでいます。

【保護者】 ⑥来校した際は、校舎内外の清掃や整頓が行き届いていると感じる。

【生徒】 ⑥無言清掃を心がけて、清掃にすすんで取り組んでいます。

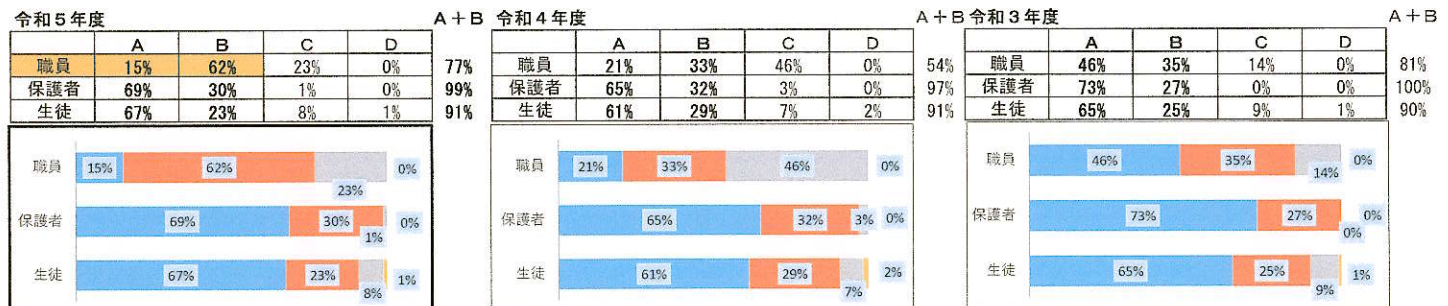


【質問項目7】 下駄箱の靴そろえ

【職員】 ⑦声がけ等の意識喚起によって、生徒がすすんで下駄箱の靴をそろえています。

【保護者】 ⑦学校の昇降口は下駄箱の靴がそろったり、展示が充実したりし、気持ちのよい空間になっていると感じる。

【生徒】 ⑦自分からすすんで、下駄箱の靴をそろえています。

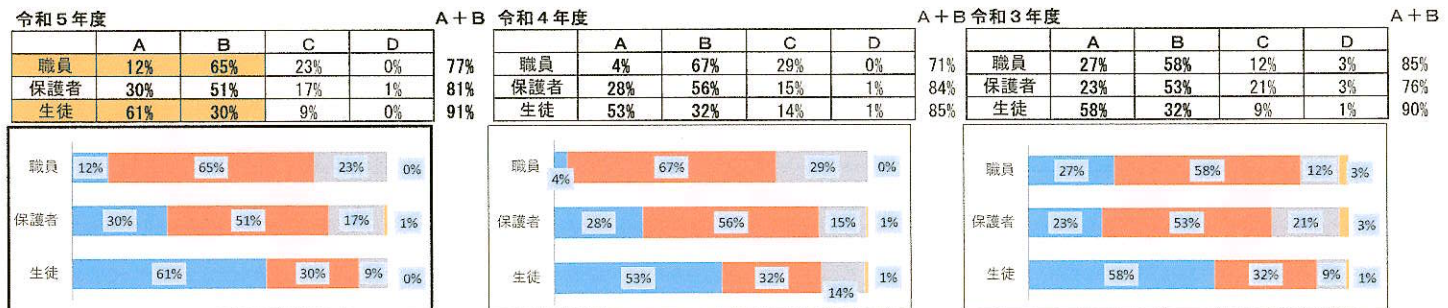


【質問項目8】 あいさつ

【職員】 ⑧学校、学年、学級、部活動などでの指導を工夫することで、学校や地域で、生徒は一人でもすすんであいさつしています。

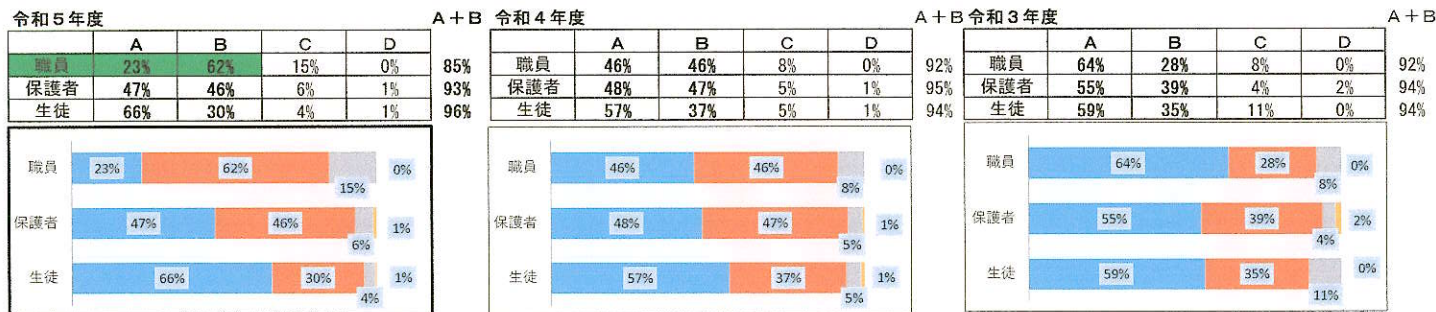
【保護者】 ⑧生徒（お子さん）は、学校や地域ですすんであいさつをしている。

【生徒】 ⑧学校や地域で、自分からすすんであいさつをしています。



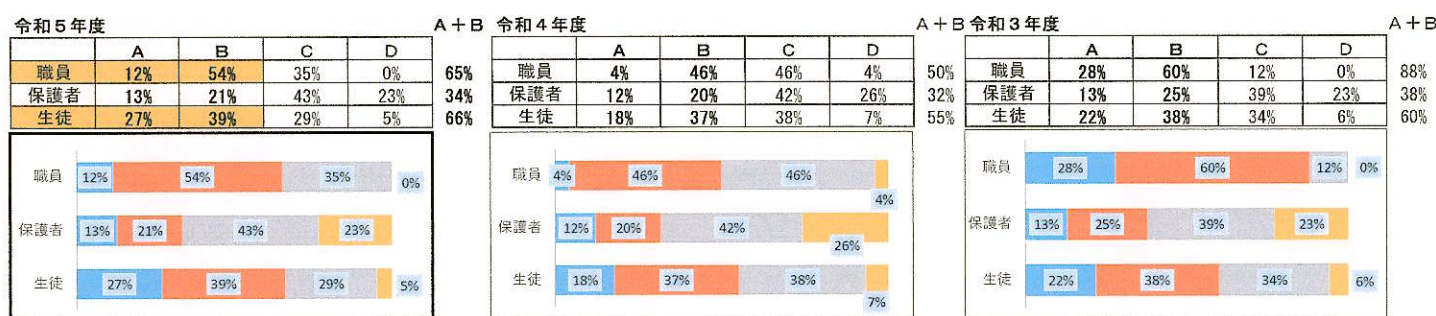
【質問項目 9】 合唱活動

- 【職員】 ⑨合唱練習を学年集会や学級の活動に位置づけ、練習の時間を確保したり、発表の場を設けたり、職員自ら合唱に参加したりすることで、校内に日々生徒たちの歌声を響かせています。
- 【保護者】 ⑨文化祭や授業参観での姿、生徒(お子さん)の話から、南中の生徒は、全校、学年、学級での合唱に意欲的に取り組んでいると感じる。
- 【生徒】 ⑨合唱の良さや大切さがわかり、学年や学級、または集会等で、積極的に合唱に参加しています。



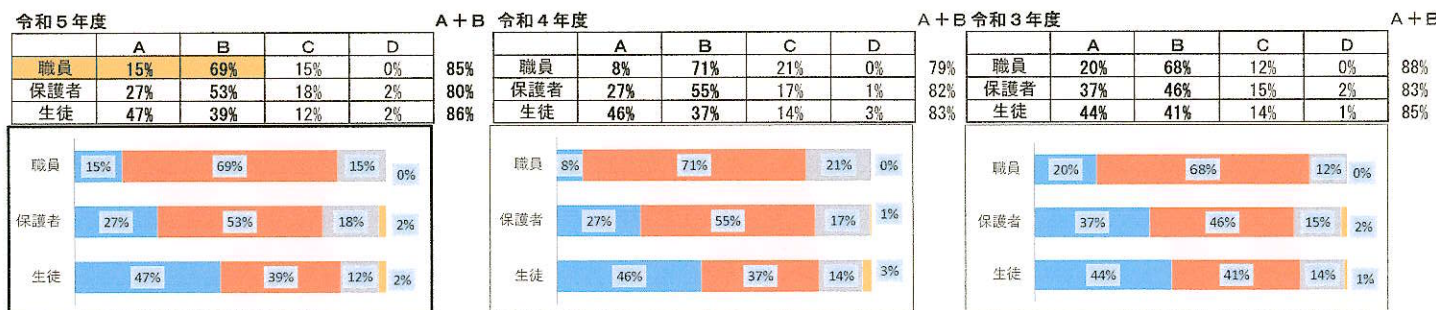
【質問項目 10】 家庭学習

- 【職員】 ⑩自学タイムを活用して学習計画を立てさせたり、家庭学習の方法や内容を指導したりすることで、生徒が目標時間(1年週70×7=490分・2年週80×7=560分・3年週90×7=630分)の家庭学習を行っています。
- 【保護者】 ⑩生徒(お子さん)は、宿題や自主学習等に、学年目標時間(1年週70×7=490分・2年週80×7=560分・3年週90×7=630分)の家庭学習を行っている。
- 【職員】 ⑩自学タイムを活用して学習計画を立て、宿題や自主学習をすることで、学年目標時間(1年週70×7=490分・2年週80×7=560分・3年週90×7=630分)家庭学習を行っています。



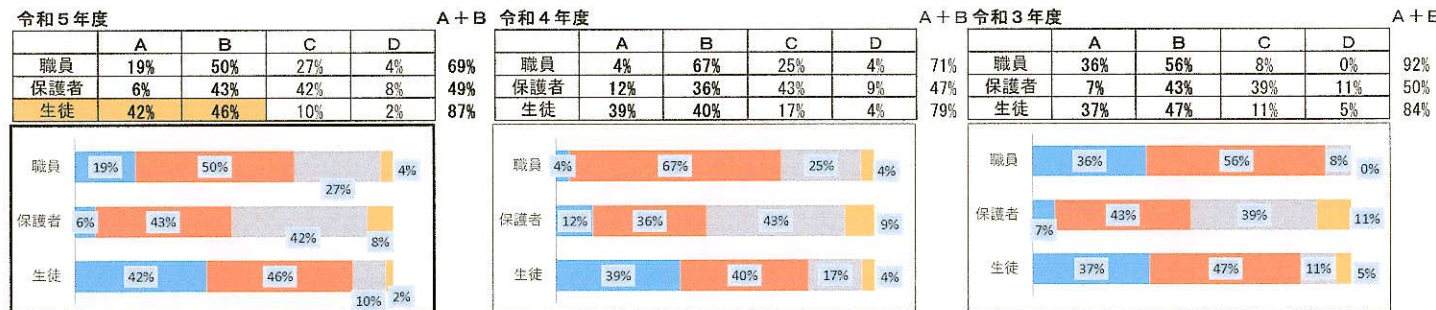
【質問項目 11】 生活習慣づくり

- 【職員】 ⑪学校からの通知や生活実態調査の結果などを活用して指導することで、生徒がより良い生活習慣づくり(「早寝・早起き・朝ごはん」)に取り組んでいます。
- 【保護者】 ⑪ご家庭で、お子さんのより良い生活習慣づくり(「早寝・早起き・朝ごはん」)を意識した取り組みを心がけている。
- 【生徒】 ⑪より良い生活習慣づくり(「早寝・早起き・朝ごはん」)に取り組んでいます。



【質問項目 12】 メディアコントロールの実践

- 【職員】 ⑫ノーメディアの必要性を指導することで、生徒がそれぞれの目標を持ってメディアコントロールの実践に取り組んでいます。
- 【保護者】 ⑫メディアコントロールも取り組みは、家庭において家族の会話づくりや学習時間・読書時間の確保等を親子で見直す機会になっている。
- 【生徒】 ⑫メディアコントロールに取り組むことで、学習時間や睡眠時間の確保について見直すことができています。

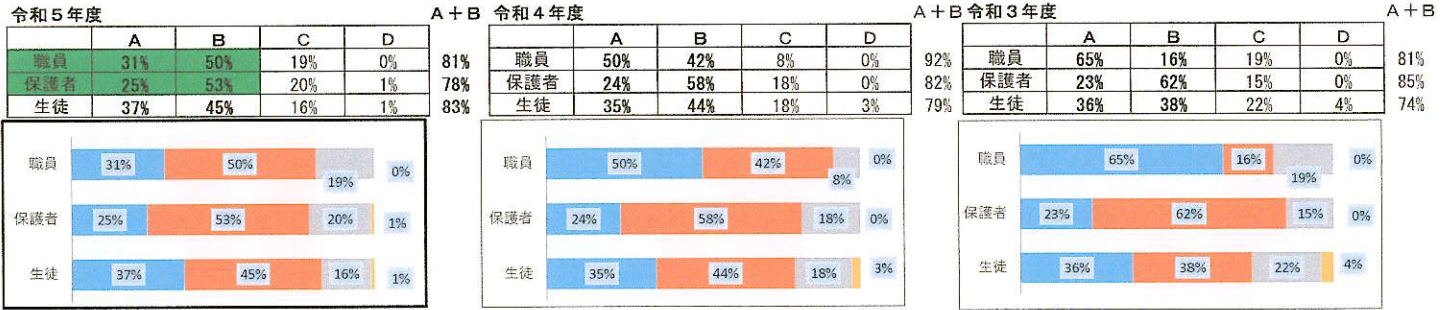


【質問項目 1 3】 地域との連携

【職員】 ⑬地域との連携を大切にして、教育活動を推進したり、地域の方々と交流したりしています。

【保護者】 ⑬お子さんの成長のためにご家庭では、学校や地域との連携を大切にしている。

【生徒】 ⑬依田窪地域の自然や農業、工業、商業、観光などについて興味や関心をもっています。

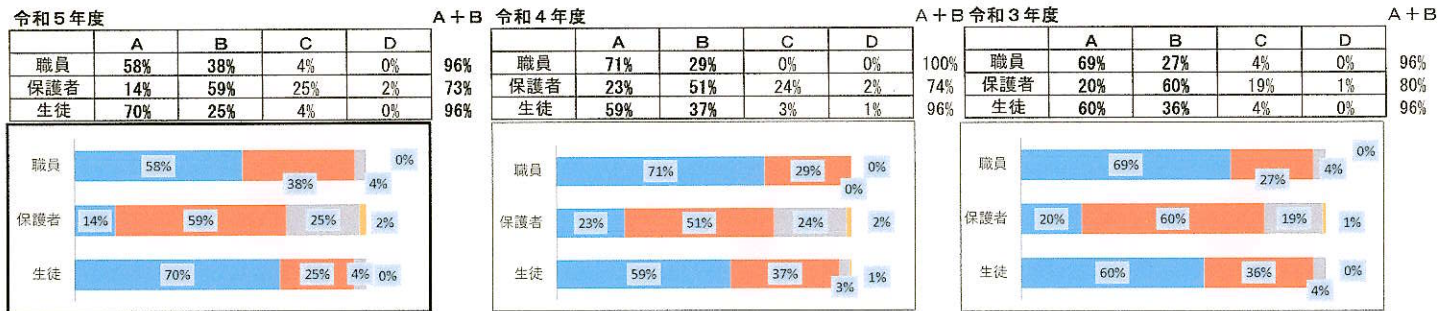


【質問項目 1 4】 総合的な学習の時間（地域学習・キャリア教育）

【職員】 ⑭1年：地域発見、2年：職場体験、3年：地域未来プロジェクトの学習を通して、子供たちにこの地域のよさを実感できるようにしています。

【保護者】 ⑭生徒（お子さん）は、総合的な学習や行事を通じて地域に関心をもつようになってきたと感じる。

【生徒】 ⑭1年：地域発見、2年：職場体験、3年：地域未来プロジェクトなどの学習を通して、この地域のよさを発見したり、実感したりすることができています。

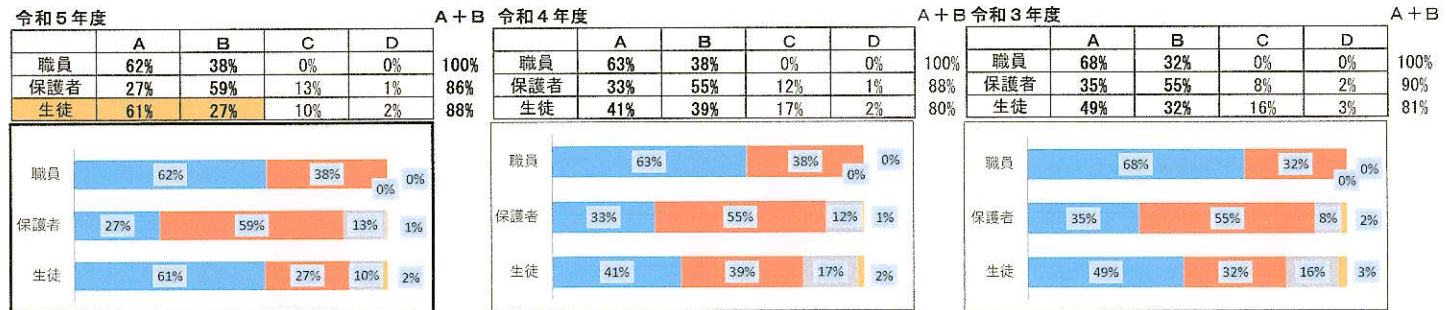


【質問項目 1 5】 家庭との連携

【職員】 ⑮保護者の話をよく聞き、家庭と協力しながら生徒を育てることを大切にしています。

【保護者】 ⑮学校職員は、子どもや保護者の話をよく聞き、子どもや家庭に対して適切な対応をしている。

【生徒】 ⑮家の人と学校での出来事や将来について話すことがあります。

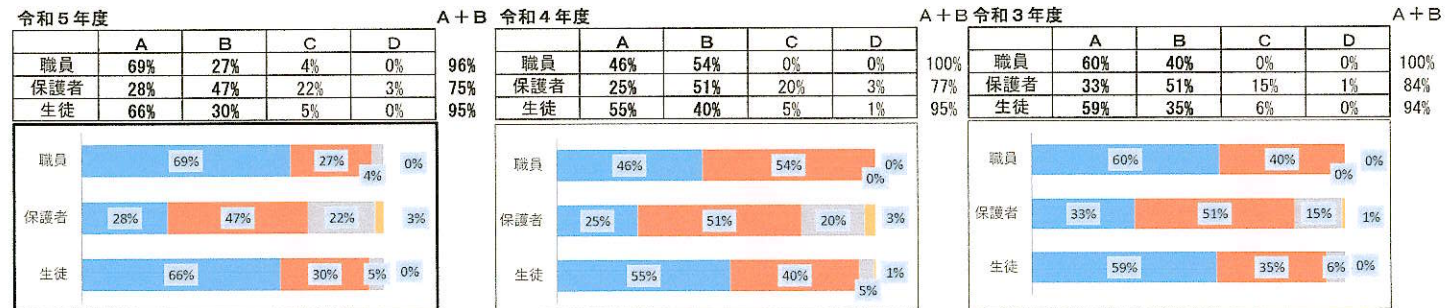


【質問項目 1 6】 家庭との連携（参観日・学校開放）

【職員】 ⑯参観日や学校開放日や懇談会などを通して、本校への理解や関心を高めてもらえるよう、努めています。

【保護者】 ⑯参観日や学校開放日や懇談会などの機会には、学校への理解や関心を高めるために、積極的に参加している。

【生徒】 ⑯親や家族は学校での活動や行事に関心をもって来ています。

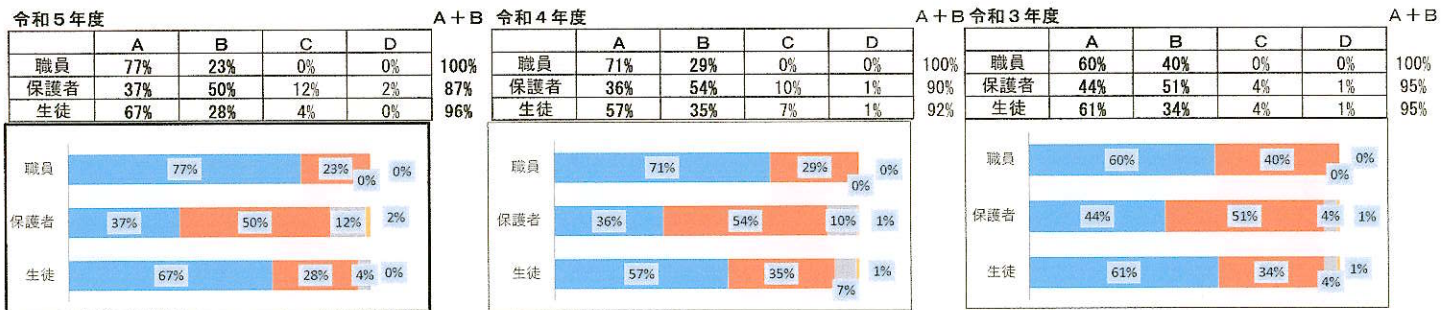


【質問項目 17】 学校からの情報発信

【職員】 ①学校・学年・学級によりなど、大切な情報や学校での子供たちの様子を、家庭にわかりやすく伝えていきます。

【保護者】 ①学校・学年・学級によりやホームページ等に目を通し、学校の様子を知ろう心がけている。

【生徒】 ①学年・学級によりは、学校の様子を家に伝えてくれるよい手段になっていると思います。



<考察>

【集団づくり】

○三者ともに、「よくあてはまる」「ややあてはまる」のA B評価が高水準を示している。今後も学校行事や生徒会活動、学級活動などを通し、生徒一人一人の役割から達成感を味わえる取り組みを大切にしたい。また、多くの生徒は、集団の中で相手の気持ちを大切に考えて行動したり、自分の考えを相手に伝えたりできている。しかしながら、C D評価の生徒が数名いたことにも目を向け、心を寄せた支援を考えていく。

○今まで制限されてきた活動が徐々にできるようになり、よりあたたかなかわりの場をしっかりと準備し、より豊かなコミュニケーションが図れるよう努めていく。

○職員は生徒一人一人の個に応じた支援を積み重ねていくとともに、生徒との関係のみならず、保護者との信頼関係をよりていねいに築き、開かれた学校づくりに努めていく。

学校への並々ならぬ保護者の皆さんのご協力やご支援がありましたことを、心より感謝します。

【習慣づくり】

○清掃と下駄箱の靴そろえについて、保護者と生徒のA B評価は、昨年度とほぼ同水準で高い。一方、職員の評価は昨年度より高い水準となっているが、十分とは言えない。生徒と共に活動したり、生徒への声がけをしたりして、生徒の活動をさらに活性化するとともに、良好な学習環境を整える役割を担っていることを自覚していきたい。さらに、生徒会活動とも連携し、黙想から片付けまで集中して取り組める清掃することを実践したい。

○家庭学習について今年度も三者ともに大きく低水準となった。職員や生徒が感じていることと保護者が感じていることには開きがあり、家庭学習のあり方について再考していかなければならないと考える。家庭学習を通してどのような力をつけるのか子ども自身が理解できるよう支援したい。また、学校と家庭の連携を密にとり、家庭での様子や学校での様子の情報交換を行いながら、より有効な家庭学習となるよう努めたい。

○より良い生活習慣づくりとメディアコントロールについては、昨年度より高い水準となっているものの、全体的に低い水準となっている。子どもと直に接している保護者の評価がやや厳しく、A B評価が半分以下となっている。他の調査結果から、一部の生徒の顕著なメディア依存や、家庭内でのルールづくりなどが課題となっていることが分かる。今年度も取り組んだメディアコントロールデーの意義を明確にし、生徒一人一人がメディアとどのように接していくべきか判断できるよう支援する。また、情報化社会を生き抜く生徒にとって、SNSやメディアとは切っても切れないものであると言える昨今、どのような付き合い方していくか、生徒自身が考え、判断し、関わっていける力がつくよう支援したい。

【家庭や地域との連携】

○質問項目14の総合的な学習(地域学習・キャリア学習)、職員と生徒のA B評価が高評価になっている。特に、計画 → 実行 → 発表・反省という流れでの学習に対して、積極的に取り組む生徒の姿が多く見られた。また、ともに地域で生きる方々や保護者からの適切なアドバイスが学習をより効果的なものにした。

15参観日・授業開放、16家庭との連携(参観日・学校開放)、17学校からの情報発信の項目全てについて、昨年度比で保護者のA B評価がダウンしている。コロナ禍で制限されてきた活動が徐々に再開できるようになり、保護者の学校や地域社会に対する意識が一層高まり、子どもへの数々の支援が、学校や地域社会と連携・協力しながら実行されているという様子を考察することができる。

○項目15の保護者への質問「学校職員は、子どもや保護者の話をよく聞き、子どもや家庭に対して適切な対応をしている」について、高い評価をいただいている。本校では、年に2回生徒相談の時間を設け、生徒との懇談の時間を確保するだけでなく、日頃より「いつでも話に来ていいよ」というスタンスを大事にしている。保護者の期待や要望に応えるべく、生徒のさらなる成長を職員全員が手を携えて支援していきたい。

2. 生徒・保護者の皆様からの意見について

「地域とともに歩む学校」を推進する学校運営に対しまして、保護者の皆様より多くのご賛同、ご支援いただいておりますことに感謝申し上げます。「生徒の個性を尊重した対応をしていただき、ありがたい」などという旨の記入がたくさんあり、職員一同勇気と元気をいただきました。また、生徒の皆さんからも貴重なご意見をいただきました。

以下のご意見・ご指摘いただいた点につきましては、今後、検討・改善をしてまいります。

(1) 通学・スクールバスについて

・今年度通学やスクールバスについて、生徒、保護者からのご意見はありませんでしたが、引き続きバスの乗り方や自転車の乗り方(特にヘルメットの着用)などについて、バス通生の会や交通安全教室を行い、バスの乗り方や自転車の乗り方について指導していきます。しかし、徹底できていない部分もあります。継続的に指導していきます。地域の皆様や保護者の皆様にしか見えない部分もあると思いますので今後もご連絡いただければと思います。

(2) 通学路について

- ・今年度通学路について、保護者、生徒からのご意見はありませんでした。しかし、今後も継続して、街灯がないところや危険な場所を地区生徒会やPTA生活指導部とも連携して確認していきます。また、必要に応じて教育委員会に要望も伝えていきたいと思います。

(3) 学校からの情報発信について

- ・昨年度、ホームページをリニューアルしました。ホームページアドレスは依然配布した通りですが、周知の徹底を図りたいと思います。また、閲覧しやすいホームページになるよう努めていきたいと思います。
- ・今年度もメール配信を多くさせていただきました。今後も瞬時に連絡が伝わるよう配信させていただきます。

(4) 部活動について

- ・活動時間や内容、送迎についてのご意見をいただきました。長野県教育委員会が示しているスポーツ活動指針に則って活動しております。多くの活動時間を確保できない中、生徒とともにより充実した活動ができるように努めていきたいと思います。また、延長部活動時に送迎が難しい場合は、完全下校時刻に下校となります。必ず取り組まないといけな活動ではありませんので、お子さんと相談しながら参加をご検討いただければと思います。
- ・冬場の延長部活については、各部で均等に活動ができるよう、顧問間での連絡を密にしたいと思います。

(5) 制服などの服装について

- ・特に意見はありませんでした。

(6) 授業について

- ・先生による授業内容の差や少人数学習についてのご意見をいただきました。各教科での話し合いをより多くし、どの先生が授業を行っても子どもの学びが統一されるよう今後も務めていきます。また、少人数学習での効果を生徒自身が感じられるような工夫も考えていきたいと思います。

(7) その他

- ・生徒から学校のみんなが気持ちよく生活するためにはどうしたら良いかということに、「陰口を言わない」「レクリエーションをする」「一人ひとりの行動・言動に責任を持つ」「挨拶をする」「いじめや差別を許さない」など前向きで建設的な意見をいただきました。貴重な意見です。ありがとうございます。これからの学校生活を送る上で、生徒会や学級会などで考えていきたいと思います。
- ・給食についてのご意見もいただきました。栄養士とも相談し、よりよい給食を提供できるようにしてまいります。
- ・保護者から「いつも子供がお世話になりありがとうございます」「日々生徒一人一人と熱心に向き合って下さりありがとうございます」など日々の